

Q1 小規模保育園の開設は。

質問 鶴来地区北部での小規模保育園設置に関して、平成28年度中に対策を決める予定であったが、その後の状況は。

答え 現在、鶴来地区で小規模保育施設の開設を希望する法人と協議を重ねているところで、入所希望者数や地域の実情を見きわめながら対応していく。

質問 旧鶴来町の林・館畑・蔵山地区のゼロ歳から2歳児までの申込数は。

答え 鶴来地域北部での入所希望者はゼロ歳児62人、1歳児88人、2歳児267人で合計417人です。

質問 今後、幼児が増加する要素はあると思われるが、鶴来・白山麓の保育所(園)定員見直しは。

答え 近年定員を超える申し込みがあることから、入所児童の調整を行っているところで、調整後にも定員を大きく超える場合は、検討していく。

質問 市内全域での小規模保育園の開設や保育所(園)定員見直しの予定は。

答え 第2次の市総合計画の基本計画案において、小規模保育園を今後2カ所整備することを検討している。

Q2 企業主導型保育所とは。

質問 曾谷地内の「小陽羽里こども園」の規模と完成時期と、関係企業の幼児の予定数は。

答え 小陽羽里こども園は、曾谷区画整理事業内で建設中で定員は120人、敷地面積は2158㎡、延べ床981㎡、完成時期は平成29年4月で、企業の受け入れ枠は60人。

Q3 保育所、小中学校のICT活用推進は。

質問 幼児期は感受性情緒豊かであり、小学校の生活・学習の基礎を培うため保育所の5歳児に対しタブレット端末を利用した保育・教育のICTを推し進めては。

答え 他市の事例や保護者からの要望などを勘案しながら、今後の検討課題にしたい。

質問 小中学校の今後のICT活用の計画と具体策は。

答え 平成31年度までにすべての学校に、タブレット端末を配置できるようにする。

Q4 交通安全対策の充実は。

質問 信号機と横断歩道の設置基準と、年度毎の要望件数と設置件数は。

答え 県警では、信号機や横断歩道の設置については、交通事故の発生状況や交通量の交通情勢等を考慮し設置していることであり、信号機の設置要望は、平成26年度33件、平成27年度31件、整備件数は、平成25年度1件、平成26年度2件、平成27年度1件、横断歩道の要望は、平成26年度8件、平成27年度8件、整備件数は、平成25年度18件、平成26年度10件、平成27年度10件。

また、信号機の県下での状況は、要望数約160件に対し毎年の設置件数は約15件。

質問 注意喚起を促す看板設置のため、各地区の交通安全協会や防犯協会への看板設置の補助金を創設、または増額は。

答え 看板等は市交通安全協会や市防犯協会の協力によりきめ細やかな活動を推進していただいており、看板設置の補助金の創設や増額は現時点では考えていない。

質問 注意喚起を促すグリーン路側帯の設置状況と今後の予定は。

答え 現在まで33路線約10km。今後、学校・PTA・道路管理者・公安委員会・地元と協議しながら設置していきたい。



Q5 松任斎場と白山郷斎場の改築・改修計画は。

質問 老朽化した松任斎場と白山郷斎場の改築計画と将来、手取郷斎場との関わりは。

答え 松任斎場は約30年経過、白山郷斎場も約35年経過し老朽化が進んでいる。

松任斎場、白山郷斎場、手取郷斎場の今後の在り方について長期的な展望に基づき、統廃合を含めた施設整備の方向性を決定すべき時期にきていて関係機関と協議し、耐震的だけでなく、総合的な観点で計画していく。

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員 **寺越 和洋**
E-mail: terakos@asagatv.ne.jp
メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
携帯電話 090-7088-0000

〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

議会での役職 予算常任委員会委員長(初代) / 広報広聴常任委員会委員長 / 白山石川医療企業団議会監査委員

その他の役職 白山市サッカー協会会長 / 白山市相撲連盟会長 / 石川県フィンランド友好協会副会長 / 石川県サッカー振興議員連盟会員 / クレイングラウンドゴルフクラブ会長 / 神奈川大学宮後会石川県支部常任幹事 / 錦丘同窓会代表幹事 / 元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

◎所属……産業建設常任委員会委員、会派創誠会

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月~ 旧鶴来町議会議員
平成17年3月~ 白山市議会議員
平成19年3月~20年3月 白山野々市広域事務組合議会議長
平成23年3月~24年3月 白山市議会副議長(第7代)
平成25年3月~26年3月 白山石川医療企業団議会議長
平成26年3月~27年3月 白山市議会議員(第10代)

白山市議会議員



てらこし和洋

白山市議会通信

2017年 新年号

昨年に引き続き穏やかな新しい年を迎えまして、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

今年は酉年という事で飛躍するような年となるよう祈願するものであります。

さて、トランプ大統領の今後の手腕に期待と不安を感じる国際的なスタートを切った一年であります。国内の状況では安定した安倍政権の中、消費税の引き上げを視野に入れた国内経済の基盤の強化の年であります。

そして石川県内では、新幹線効果のさらなる持続と金沢港のクルーズ船の入港などの経済効果や県立中央病院の改築による健康政策の充実など明るい兆しの垣間見る年となると思われます。

一方、白山市では、白山開山1300年をアピールし国内外へ情報発信しながら白山市の認知度を上げる機会であります。

白山市誕生12年が経ち第2次の総合計画を策定し「健康・笑顔・元気」のキーワードのもと、今後の10年間でスタートします

そしてさらに、新幹線効果の持続や白山白川郷ホワイトロード効果による交流人口拡大を始めとして、2018年の福井国体や2019年のラグビーワールドカップから2020年の東京オリンピッ

ク・パラリンピック開催による石川県や白山市に対する経済波及効果の活かし方が必要となります。さて、2月26日には、白山市議会議員選挙の投票が行われます。

私自身軸足が市民であることを忘れずに、私の政治信条であります「やさしさ・思いやり・ふれあい・夢と希望・やすらぎ」をキーワードに「快適空間都市」「生涯学習都市」「産業発展都市」「創造発展都市」「福祉先端都市」の公約実現に向けて、夢と希望と努力することが報われ、暮らしやすい社会の実現のため議員として挑戦していきたいと思っております。

そして、同時に、さらなる安心して暮らすため安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。

今後とも、皆様方から市政に対するご意見を頂戴しながら、皆様のご意見を活かして市民の負託にこたえていきたいと思っております。

最後に、今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、貴台始めご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げご挨拶といたします。



(議長席にて)

◎12月補正予算 一般会計補正額 20億4857万円

歳入の主なもの	
・地方交付税	2億6009万円
・国庫支出金と県支出金	5億3686万円
・諸収入	2億3229万円
・市債	6億5440万円

歳出の主なもの	
・定住促進対策事業(白山ろく定住対策事業含む)	1億1510万円
・北陸鉄道石川線利用促進事業	1281万円
・ひとり親家庭等自立支援事業	217万円
・環境保全型農業支援対策事業補助金	767万円
・白山開山1300年記念事業首都圏PR推進事業	330万円
・道の駅整備事業	1億2420万円
・北安田南部地区と横江町土地区画整理事業	2億3227万円
・石川小学校大規模改修事業	4億6940万円
・山島工業団地分割分譲整備事業	2842万円

◎12月補正予算後の総額

・一般会計	532億9268万円
・国民健康保険特別会計	133億8111万円
・後期高齢者医療特別会計	10億6937万円
・介護保険特別会計	93億5852万円
・簡易水道事業特別会計	3億2712万円
・墓地公苑特別会計	3847万円
・温泉事業特別会計	2314万円
・工業団地造成事業特別会計	1億324万円
・湊財産区特別会計	3023万円
・水道事業会計	21億1639万円
・工業用水道事業会計	8億6054万円
・下水道事業会計	85億2150万円
合計	891億2236万円

*詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。

暮らしと和洋

かずひろ



室内用

愛する故郷のため、暮らしやすい社会を実現します

「やさしさ」のある生活環境づくり

「快適空間都市」

- セキ用水など親水性のある河川整備の促進
- 4Rを推進し、ゴミの減量化など、環境美化の促進
- 安心して暮らせる、災害に強いまちづくりの形成
- ふれあいのある公園整備の推進
- 快適な居住環境の充実による定住促進
- 新しい都市計画マスタープランの制定

「ふれあい」のある産業社会づくり

「産業発展都市」

- 企業誘致による就業の場の確保
- 地場産業の高度化と創造性を高め新たな産業の育成
- 若者から高齢者たちの働きやすい産業の育成
- 6次化産業と環境保全型農林業の確立
- 元気な商店街の形成
- 企業の社会貢献のため企業見学ツアーの支援

「夢と希望」のある新しい都市づくり

「創造発展都市」

- 安全・安心の暮らしを実現
- 情報化社会の利活用の促進
- 高度な行政サービスを市民へ提供
- 近隣自治体との広域道路網の整備促進
- 財政基盤の強化と効率的な行政運営の確立
- 北陸新幹線開業効果を持続

「やすらぎ」のある福祉社会づくり

「福祉先端都市」

- 安心して生活できる生活環境の整備
- 障害者の自立のための社会形成の実現
- 子育て支援の充実と進展
- 生きがいのある長寿社会の実現
- いきいき健康生活の充実
- すべての人たちのためユニバーサルデザインの確立

「思いやり」のある心豊かな人づくり

「生涯学習都市」

- 芸術・文化の拠点のクレインの充実と芸術・文化の振興
- 知育 徳育 体育 食育のバランスのとれた教育の推進
- 個性にあった生涯学習、生涯スポーツの推進
- 市民と行政の協働による、交流とふれあいの推進
- 個人の生活スタイルを尊重した地域社会づくりの推進
- 競技スポーツ支援による笑顔ある社会づくり



帯広市 紫竹ガーデン代表 紫竹昭葉さん(89歳)と談笑

自然と伝統を活かし、心豊かで活力あるまち
白山市の宝である四季の変化に富む美しい自然環境と共生し、
地球にやさしい都市づくり、社会づくりに邁進します

これまでの 主な成果

クレインの申し子…鶴来総合文化会館「クレイン」とその周辺の建設を初めから尽力
ミスター議会改革…議会、議員のあり方を決めた議会基本条例の素案を制作

討議資料